

えんじゅ

令和4年2月14日発行

松原小学校 NO18

** 当面の主な行事予定 **

【 令和3年度 2月 】

- 1 6 (水) 委員会
- 2 3 (水) 天皇誕生日
- 2 4 (木) 評価テスト
(5・6年生)
- 2 8 (月) 家庭学習がんばり週間
(～3/6まで)

** 当面の主な行事予定 **

【 令和3年度 3月 】

- 1 (火) 学校運営協議会
- 2 (水) 6年生を送る会
- 9 (水) 委員会
ノーメディアデー
- 1 1 (金) お別れ遠足
- 2 0 (日) 春分の日
- 2 3 (水) 卒業式
- 2 4 (木) 修了式

子ども祭り準備

～1月日～

6年生は3学期が始まると同時に準備に取りかかりました。当初予定していた



1月28日に向けてクラス全員で知恵を出し合い、下級生を楽しませるために工夫を凝らしていました。校舎内には、各コーナーの場所や遊び方を説明したポスターが掲げられています。しかし、現状では残念ながら子ども祭りは開催されておらず、開催日決定を待っている状態にあります。

今後、世の中の状況が好転し、子供達が楽しみにしている子ども祭りができるようになってほしいものです。

出来ることを ～自粛の中で～

1 月半ばからの新型コロナウイルス感染の再拡大により授業参観、全校集会など様々な行事等が中止または延期を余儀なくされています。ここに来てお別れ遠足も 3 月に延期することになりました。子供達にとって楽しい行事が減少されていくのは心苦しい限りですが、今しばらく自粛態勢を継続していかねばなりません。

しかしながら、学校では限られた条件の中で出来る限りの学習活動を行っています。昼休みなど運動場での外遊びは盛況です。また学校通信「えんじゅ」の中で何回か紹介している図書の貸し出し冊数は 1 月末現在で既に昨年の 2 倍以上となっています。コロナ前に比べ不自由な学校生活の中、子供達はそれぞれが活動の場所や対象を見つけ生き生きと学校生活を送っています。

不自由な状況に不平不満を募らせるのではなく、与えられた状況や条件のもとで生活を工夫し喜びを見つけていく、そんな姿勢を学んでいく機会を得たと考えることもできます。状況に合わせて対応していく力および意識をつけていければと思います。

ドラえもんズカップ ～2月4日～

卒業を 1 ヶ月後に控えて 6 年生が下級生と積極的に交流しています。給食を終えて昼休みになると 1 年生から 6 年生までの有志が集まってきました。そして、その場で「ドラエモンズカップ」というスポーツイベントが始まります。サッカー、ドッジボールなどによる異学年交流の開始となります。



卒業を控えた 6 年生はもちろん、5 年生以下の下級生も自分達の学年だけで遊んでいるときよりも白熱して遊びに臨んでいるように見えます。6 年生、下級生ともに最後の 1 ヶ月を充実感を持って過ごし、特に 6 年生には小学校生活最後の良き思い出の 1 つとしてほしいと思います。

ラグビー ～2月4日～

5 年生が体育で行っています。使い慣れない楕円形のボールを使っています。パス練習をしている姿を見かけますが、なかなか難しい様子です。ドッジボールのような球型とは扱いが少し違うようです。相手が受け取り易いようにパスしたり、パスされたラグビーボールを手のひらでしっかり受け取ったりする練習では四苦八苦している姿も見られます。しかし不規則な動きをするラグビーボールに興味を持ちながら練習している様子も見受けられます。今学期中には、タグラグビーなどのゲームをする予定であると聞いています。



体力作りをしながら、ラグビーの楽しさを味わってもらいたいものです。

なわとび ～2月7日～



へと挑戦しています。

3 学期に入ってから体育ではなわとびが盛んに行われています。前跳びや二重跳びなど各なわとび種目の最高記録によって段級を検定します。段級は 20 級から始まって 10 段、更に達人、名人、鉄人、そして最高ランクの超人までとなっています。段級の判定期限は 2 月 28 日です。子供達は体育の時間や休憩時間に練習することにより 1 ランクでも高い段級